

若者雇用戦略の骨子（案）

総論

- 『自ら職業人生を切り拓ける骨太な若者の育ちを、社会全体で支援
ー若者を包摂した成長（インクルーシブ・グロース）の実現ー』

- 『対症療法から中長期戦略へ』
 - ・成長戦略を推進し、質の高い雇用を創出することが大前提
 - ・地方での起業・社会的企業等の支援
 - ・リーマンショック後の対症療法から、経済社会を支える分厚い中間層の創出を狙いとした中長期戦略への転換
 - ・「フリーター半減」の確実な達成、キャリア教育の初年度実施等

- 雇用戦略対話の下に「若者雇用戦略推進協議会」を設け、施策の推進・広報、データによる施策効果の検証等のフォローアップに取り組む

機会均等・キャリア教育の充実

- 就学支援による『貧困の連鎖の防止』
 - ・公立高校授業料無償制等、奨学金制度（特に所得連動返済型の無利子奨学金）、授業料減免制度の推進
 - ・高校中退者・中卒者の学卒訓練受講への支援
 - ・課題を抱える生徒が多い高校や定時制・通信制課程の高校に対する重点的支援

- キャリア教育の『フレッシュマン原則』
 - ・職場へ円滑に移行できない場合が多いこと等を踏まえ、各学校において初年度から教育活動の全体を通じて体系的・系統的なキャリア教育を実施（再掲）
 - ・ワークルール、就職支援の仕組み等について、教材を整備

○キャリア教育の充実

- ・キャリア教育に関して、現役の教員の指導力の向上を図るとともに、教員養成課程での内容を充実
- ・インターンシップの普及のためのガイドラインの見直し、中小企業に対するノウハウの提供
- ・好事例に対する表彰制度の拡充

○『地域キャリア教育支援協議会（仮称）』によるキャリア教育支援

- ・学校等の教育機関・産業界・NPO・労働団体・地方自治体・労働局・経産局等の連携により地域に密着したキャリア教育の支援体制を構築
 - 外部専門人材の登録・情報提供
 - インターンシップ、職場体験のマッチング（特に中小企業の職場体験の場の開拓）
 - 地域の経営者等の参加による実践的キャリア教育の推進
- ・全国レベルの協議会を設置し、『地域キャリア教育支援協議会（仮称）』の設置等を支援

雇用のミスマッチ解消

○学校とハローワークの連携強化

○中小企業就職者の人材確保・定着支援

○中小企業とのマッチング支援

○積極的な就職関連情報公開による求職活動の効率化

○既卒3年新卒扱いの標準化

キャリア・アップ支援

- ステージに応じた伴走型支援の制度化の検討
 - ・様々な生活上の困難に直面している者に対する伴走型支援の制度化の検討

- 『全国全ての地域でのサポステのサービス提供』と『アウトリーチ・学校との連携による切れ目のない支援』
 - ・中退者情報の学校とハローワーク・サポステでの共有、在学中からの支援等サポステと学校の連携体制の構築
 - ・アウトリーチ事業の全国展開を目指した拡充

- 「フリーター半減」の確実な達成（再掲）
 - ・2020年にフリーターを半減する目標を確実に達成するため、統計を整備し、詳細なデータ分析を行った上で、特に不本意非正規を減らすことができるよう重点的に取り組み、効果をフォローアップ

- 『わかもの支援コーナー等における、若者向け職業訓練等の一元的管理と最適メニューへの確実な橋渡し』
 - ・わかものハローワーク・支援コーナー・支援窓口の全国展開
 - ・実習を活用した訓練の推進
 - ・求職者支援訓練について、学卒未就職者訓練の実施や企業実習の設定促進など、若者向け訓練内容の充実
 - ・トライアル雇用の充実

- フリーター等の企業内での正社員転換・キャリア形成等の支援策の充実

- 地域における課題を解決する社会的企業のプラットフォームづくり等の起業支援

- 実践キャリア・アップ戦略の本格展開・対象業種の検討

- 産学官の連携強化による実践的な職業教育の充実
 - ・大学・専修学校・高校等による中核的専門人材養成の推進

- 大学・専門学校等における社会人の学び直し等のニーズに対応した学習機会の提供